

## 第1回理事会議事録

議事録作成者：専務理事 三浦重則

- 1 日 時：令和2年5月10日（日）14時～17時半
- 2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局  
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16
- 3 出席者：【理事】古城 資久 伊差川浩之 三浦 重則 太田 勇吉 高井 隆義  
※理事総数：5名、本日の出席理事5名  
【監事】安原 徹 辻 恵  
※監事総数：2名、本日の出席監事2名  
【陪席】蜂須 貢 二宮 正晴 松谷 昌典  
(敬称略、順不同)  
理事の伊差川浩之、三浦重則、太田勇吉、高井隆義、監事の辻恵、安原徹、及び陪席の蜂須貢、二宮正晴はテレビ会議システムを利用する事によりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。
- 4 開 会  
定刻通り、代表理事古城資久が席につき、テレビ会議システムにより出席者の音声・映像の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がない事を確認、定足数を充足したことから本会議の成立を宣言した。
- 5 議 長 古城 資久
- 6 議 事  
第1号議案 平成31年度（令和元年度）事業報告書および計算書類について  
・事務局から平成31年度（令和元年度）の事業報告書案、計算書類について説明を行い、辻監事（業務監査）から「現理事会運営は適正に運営されていること」及び安原監事（会計監査）から「計算書類は適正に表示されていること」が報告された。審議の結果、平成31年度（令和元年度）事業報告書案および計算書類は、原案通り出席理事全員一致で承認された。  
  
第2号議案 定時社員総会の招集の決定について  
・事務局から定時社員総会の開催内容等について説明を行った。
  - ① 日時：令和2年6月21日（日）14時～17時
  - ② 開催場所：本部事務局または東京都内  
コロナウイルス感染拡大について、日本国政府の緊急事態宣言により、会議開催が見通せない状況のため、開催方法等を含め総会案内作成時までに総合判断を行う

③ 議題：「事業報告・計算書類」の承認、「定款変更」、「個人正会員について」、「役員信任」、「役員選任」、「資格停止4年の撤回」、「その他の報告」審議の結果、定時社員総会の招集について出席理事全員一致で承認された。

### 第3号議案 その他審議事項について

#### 1) 定款・規程類の改訂について

会長から定款及び規程類の改訂案について説明を行った。主な改訂の要点は以下のとおり。

##### ①「定款」

- ・ J P Aの一層の発展を目指すためには、各地域の実情を幅広く反映する必要があることから、理事会の運営については、都道府県協会代表者及び加盟団体の代表者、学識経験者による構成を厚くし、また過去の反省等から個人正会員制度の見直しを行う。
- ・ 「準会員」は実体がなく今後も見込みがないため廃止を行う。
- ・ 法令に基づく役員の実任責任軽減について定款へ付記する。
- ・ 退会や除名した際の資格喪失の定めを明記する。
- ・ 社員による総会の招集期間は法令どおり6週間以内に変更する。
- ・ その他条項の文面整理、漢字の修正を行う。

審議の結果、定款の改訂案を社員総会へ提出することについて、出席理事全員一致で承認された。

##### ②「役員選任規程」

- ・ 「役員選任規則」を「役員選任規程」と名称を変更する。

改訂の要点：役員選任は各ブロックにおいて定められた人数を上限に、ブロック長の推薦をもって選考する。

審議の結果「役員選任規程」は出席理事全員一致で承認された。

##### ③「役員選任規程の細則」

- ・ 「役員選任時の条件等に関する細則」を「役員選任規程の細則」と名称を変更する

改訂の要点：理事は個人正会員になる定めの廃止、学識経験者を2名選出する際は1名を外部理事とする定めを廃止する。

審議の結果「役員選任規程の細則」は出席理事全員一致で承認された。

##### ④「アスリート委員会規程」

- ・ スポーツ庁中央団体向けガバナンスコードへの準拠を目指し、「アスリート委員会規程」を新設する。アスリート委員会は選手の意見を理事会へ提出するための専門委員会という位置付けであり、今後関連する規程の改訂を予定している。

審議の結果「アスリート委員会規程」は出席理事全員一致で承認された。

##### ⑤「加盟団体規程」

- ・ ブロック長の権限及び職務、定年等を定める内容について、一部見直しが必要となったため、修正のうえ再度理事会で審議を行う。

##### ⑥「職員服務規程」について

- ・ 事務局職員の採用、遵守事項、退職、処分等について定めた規程であるが、本協会の運営では実態にそぐわないため廃止する。

- ・事務局職員の処分関係については、現在改訂中の賞罰関連等の規程において明記する。

審議の結果「職員服務規程」の廃止は、出席理事全員一致で承認された。

⑦その他規程類の改訂状況について

- ・太田理事から、その他規程類の改訂イメージ、円滑な運営を目指した仕組みづくり等について説明を行った。改訂中の規程は順次書面理事会等で承認を行う。

2) 本年度の個人正会員費について

提案内容

- ・個人正会員を廃止とする定款の改訂予定と合わせ、本年度の個人正会員費を免除する
- ・既に支払いを済ませた正会員へは返金を行い、本年度の議決権は有効とする
- ・今後も金銭的に支援をいただける場合は個人賛助会員への移行勧奨や次年度の名誉会員への推薦を行う

審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

3) 新型コロナウイルス感染対策に関する運用ガイドラインについて

提案内容：蜂須アンチドーピング委員長

- ・大会時の感染予防対策を定めたガイドラインについて、会場の入退場、検量、試技中それぞれの3密を回避する予防策を行う

審議の結果、運用する上でIPFルールと大きく異なる部分については修正のうえ承認すること出席理事全員一致で承認された。

4) アンチドーピング講習会期限について

提案内容：蜂須アンチドーピング委員長

- ・コロナウイルス感染の拡大により、安全にアンチドーピング講習会を開催することが困難であるため、アンチドーピング講習会有効期限の延長を行う。
- ・2019年12月31日までに受講した方に対して有効期限の1年間延長を行う。
- ・講習会が開催されず2020年以降に期間が切れる方についてはJADAのeラーニングを受講することで1年延長する。

審議の結果、期限延長については、出席理事全員一致で承認された。

5) 新規賛助会員の承認について

二宮財務委員より、新規賛助会員として大阪府に本社をおく『株式会社Warrior』について新規申込について説明がされた。

審議の結果、賛助会員入会は出席理事全員一致で承認された。

6) オンライン大会の実施について

技術委員長より、オンラインによるマニュアル大会について説明がされた。腕立て伏せと片足スクワット(マスターズⅡ以上はヒンズースクワット)を3分間での回数を競い、ビデオ投稿で判定を行うものである。

審議の結果、オンライン大会実施は出席理事全員一致で承認された。

7) 日本スポーツ振興センター報告書提出について

平成30年度助成事業の実態調査において、提出書類と団体帳簿とにズレがあることを指摘された。未収金計上ミスによる齟齬であり、改善方策について文

書で回答することになった。

審議の結果、改善方策を示した文書案は、出席理事全員一致で承認された。

8) 日本スポーツ振興センター基金助成について

本年12月に岐阜県で開催予定のアジアカラシックパワーリフティング選手権大会をアジアパワーリフティング連盟に返上した経緯から、日本スポーツ振興センターへ基金助成の取り下げ申請をしたところ、同センターより幾分か助成金（金額未定）があたるため使途可能な大会について問い合わせがあった。

審議の結果、令和3年3月27日、28日に兵庫県で開催されるジャパンクラシックパワー大会において申請することが出席理事全員一致で承認された。

9) 実業団連盟について

実業団連盟から報告があり、登録者の激減により実業団連盟の運営資金が不足していること、大会の参加人数は堅調であり生涯スポーツ的役割を果たしていること、引き続き大会運営を行うため、実業団登録を都道府県協会に移譲し、助成金についても10万円の増額が提案された。

審議の結果、助成額の増額について出席理事全員一致で承認された。今後関連する全日本開催マニュアル他規程類の改訂を行うほか、登録の変更については社員総会へ報告することとした。

10) アジアパシフィック大会について

台湾高雄で予定されているアジアパシフィック大会（本年8月2日から9日）については、仮エントリー締め切りが6月1日のため、選手団は確定し承認済みであるが、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、海外派遣が困難になっていること、海外安全情報レベル3（渡航延期勧告）のため、旅行会社による発券ができない可能性があること等から、今後の派遣については世界の情勢をみながら総合的に判断していくが、近々の準備作業は進めて行く必要があり、現況について説明を行った。

審議の結果、当面予定通り準備を進めていくことで、出席理事全員一致で承認された。

11) 第24回ジャパンクラシックパワーリフティング大会(岡崎市)について

本大会は7月18日及び19日に予定しているところであるが、政府の緊急事態宣言や自粛要請が5月末に解除されるか見通しが立たない中ではあり、社会情勢をみながら総合的に判断し、準備作業は進めて行くこととする。

12) 学識経験者2名の推薦について

現会長の古城資久、現副会長の伊差川浩之の2名を学識経験者として理事会推薦することが提案された。古城資久は医学博士及びスポーツドクター資格を有しており、スポーツ医学分野の学識経験者である。伊差川浩之については国際殿堂入りを果たしており、パワーリフティングに関する知見が高く、また国際貢献度も高い。JPAは今後も一層発展するため引き続き2名による協力が必要不可欠であることから三浦専務理事、太田常務理事、高井常務理事の3名の理事による推薦がなされ、承認された。

13) 北信越ブロックからの封書について

今年度の大会はすべて取りやめるよう求めるものであり、また、鹿児島国民体育大会へ不参加表明するよう要望したものである。対応は顧問弁護士と協議することとした。

1 4) 富山県パワーリフティング協会からの封書について

富山県において開催予定（10月24日から25日）の第25回ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（ジュニア・サブジュニア）は、コロナウイルス感染拡大から大会を返上する申し出であった。これを受け、今後の開催方法について関係協会と協議を行い、ジュニア部門、サブジュニア部門を分けて、他の大会と合同開催する検討経過を説明した。

審議した結果、合意が取れた場合は当該大会と併催することを、出席理事全員一致で承認された。

1 5) 理事会議事録の修正について

2020岐阜アジアクラシックパワー大会の見合わせを決議した令和2年4月18日付書面理事会議事録において、記載が一部割愛されており、「助成金の大幅減」や「アジア連盟による開催候補地早期選定」のため返上するという2点を明記するよう会長より修正指示がなされた。

審議の結果、議事録修正について、出席理事全員一致で承認された。

7. 報告事項 代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告について

- ・古城資久会長（代表理事）、伊差川浩之副会長、及び三浦重則専務理事、太田勇吉常務理事、高井隆義常務理事から、それぞれ自己の職務の状況の報告があった。
- ・令和元年度3月理事会はコロナウイルス感染拡大防止から書面での理事会であった。職務執行状況報告は書面で提出されており、報告書について追認すること承認された。

以上をもって議案の全部を終了したので、古城資久代表理事は17時半に閉会を宣した。上記の議決を明確にするため、代表理事及び監事が次に署名する。

令和2年5月10日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

代表理事

古城資久



監事

辻 恵



監事

安原 徹

